

2016年度 VHJ臨床指標

症例数の全体・平均値・前年度平均・中央値・標準偏差値

特定非営利活動法人 VHJ機構

2018年2月

目次

様式1の集計対象症例について

様式1の集計対象症例割合	2
--------------	---

1. 脳血管疾患の各指標

脳梗塞(手術なし・エダラボン投与・JCS10未満)における平均在院日数	4
脳梗塞(手術なし・エダラボン投与・JCS10以上)における平均在院日数	4
脳梗塞における入院時JCS別構成比率	5
脳梗塞における入院時JCS別在院日数分布	5
脳梗塞に対する治療別実施率	6
脳梗塞に対するt-PA投与率	8
急性脳梗塞に対するリハビリ開始日別比率	8
急性脳梗塞に対する入院後1週間の日別1日あたり平均リハビリ単位数	9
脳梗塞リハビリテーションにおける総合計画評価料・退院時指導の実施率	11
脳梗塞における誤嚥性肺炎の入院後発症率	13
脳梗塞における退院時modified Rankin Scale別構成比率	13
脳梗塞における死亡率(年齢階級別)	14
脳梗塞における観測死亡率と予測死亡率における死亡比	16
くも膜下出血における開頭術、血管内手術等の構成比率	17
未破裂脳動脈瘤における開頭術と血管内手術の割合	17
脳梗塞の心房細動合併に対する退院時ワーファリン、NOAC投与率	18
心房細動に対する予防的ワーファリン、NOAC投与率	20

2. 虚血性心疾患等の各指標

急性心筋梗塞における平均在院日数	23
急性心筋梗塞における入院時Killip分類別在院日数分布	23
急性心筋梗塞に対する入院時β遮断薬投与率	24
急性心筋梗塞に対する退院時アスピリン等投与率	24
急性心筋梗塞に対する退院時β遮断薬投与率	25
急性心筋梗塞に対する退院時ACE阻害薬またはARBの投与率	25
急性心筋梗塞における入院時Killip分類別死亡率	26
急性心筋梗塞における観測死亡率と予測死亡率における死亡比	28
PCI実施症例における疾病別構成比率	29
PCI実施症例のPCI再施行のための再入院率	29
心不全に対する退院時のACE阻害薬、ARB、β遮断薬等の処方率	30

3. 悪性腫瘍の各指標

5大癌の患者数	33
胃癌における術式別構成比率	33
大腸癌における術式別構成比率	34
初発肝細胞癌の治療別実施率(肝動脈塞栓術、ラジオ波焼灼術、肝切除術)	34
乳癌に対するセンチネルリンパ節生検実施率	36

乳癌に対するステージ別乳房温存手術実施率	36
前立腺癌(手術あり症例)における術式・治療別実施率	38
大腸癌の腹腔鏡下手術実施症例における平均食事開始日	40
大腸癌の開腹手術実施症例における平均食事開始日	40
胃癌の腹腔鏡下手術実施症例における平均食事開始日	41
胃癌の開腹手術実施症例における平均食事開始日	41
膵頭部領域癌(膵癌・胆嚢癌・胆管癌)の手術実施症例における平均食事開始日	42
4. 救急医療の指標	
救急医療入院率(予定救急医療入院区分別構成比率)	44
救急医療入院症例の内訳構成比率	44
5. その他疾患の各指標	
市中肺炎の重症度(A-DROP)別構成比率	46
成人市中肺炎入院患者における入院2日以内の広域抗菌薬(抗緑膿菌薬)使用率	46
認知症高齢者の日常生活自立度判定基準別構成比率	47
認知症高齢者日常生活自立度別 在院日数分布	47
鼠径ヘルニア手術(15歳以上)における腹腔鏡下での手術実施率	48
鼠径ヘルニア手術(15歳以上)における在院日数	48
大動脈解離の死亡率	50

様式1の集計対象症例について

様式1の集計対象症例割合

分子 集計対象の症例件数

分母 計測期間中の様式1に含む症例件数

	分子	分母	指標
全体	339,360	353,156	96.09%
統計値			
平均値	96.09%	前年度平均	96.22%
中央値	96.52%		
標準偏差	2.73%	集計対象34施設	

1. 脳血管疾患の各指標

脳梗塞(手術なし・エダラボン投与・JCS10未満)における平均在院日数

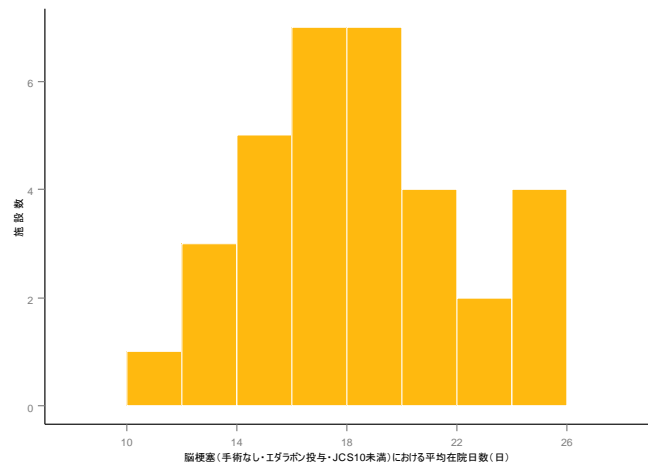
分子

分母症例の在院日数合計

分母

「医療資源最傷病ICD10」が、I63\$(脳梗塞)で、「JCS」が10未満、「エダラボン」の投与あり、且つ、手術を実施していない症例件数
 ※ その他病棟への転棟を除く

	分子	分母	指標
全体	62,982	3,336	18.88
統計値			
平均値	18.88	前年度平均	19.54
中央値	18.04		
標準偏差	3.82	集計対象33施設	



脳梗塞(手術なし・エダラボン投与・JCS10以上)における平均在院日数

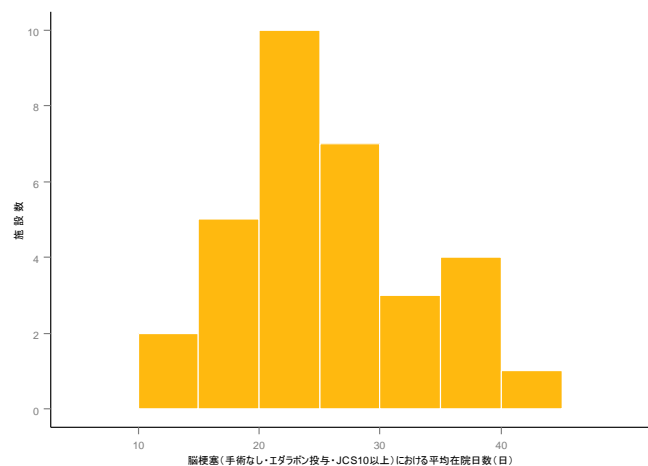
分子

分母症例の在院日数合計

分母

「医療資源最傷病ICD10」が、I63\$(脳梗塞)で、「JCS」が10以上、「エダラボン」の投与あり、且つ、手術を実施していない症例件数
 ※ その他病棟への転棟を除く

	分子	分母	指標
全体	10,444	399	26.18
統計値			
平均値	26.18	前年度平均	28.20
中央値	24.94		
標準偏差	7.51	集計対象32施設	



脳梗塞における入院時JCS別構成比率

分子

様式1の「入院時JCS群」別の症例件数

分母

「入院契機ICD10」、且つ、「医療資源最傷病ICD10」が、I63\$（脳梗塞）である症例件数

	障害無し	I 群	II 群	III 群
全体				
分子	3,468	2,813	574	275
分母	7,130	7,130	7,130	7,130
指標	48.64%	39.45%	8.05%	3.86%
統計値				
平均値	48.64%	39.45%	8.05%	3.86%
中央値	51.88%	34.83%	7.73%	3.58%
標準偏差	16.76%	15.68%	3.76%	2.09%
前年平均	48.69%	38.18%	8.70%	4.43%

脳梗塞における入院時JCS別在院日数分布

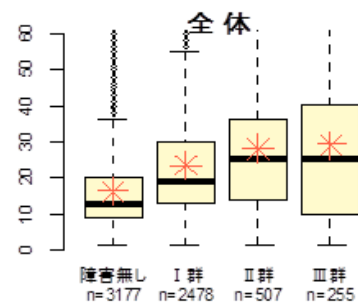
分子

分母症例の在院日数合計

分母

「入院契機ICD10」、且つ、「医療資源最傷病ICD10」が、I63\$（脳梗塞）である症例の「入院時JCS群」別の症例件数
 ※ その他病棟への転棟を除く

	障害無し	I 群	II 群	III 群
全体				
分子	51,875	58,208	14,297	7,412
分母	3,177	2,478	507	255
指標	16.33	23.49	28.20	29.07
統計値				
平均値	16.33	23.49	28.20	29.07
中央値	15.77	22.58	26.20	27.42
標準偏差	4.09	7.43	9.90	13.67
前年平均	16.89	23.97	29.22	28.18



脳梗塞に対する治療別実施率

分子

分母のうち、「エダラボン」、「t-PA投与」、「ウロキナーゼ」、「K178-3: 経皮的選択的脳血栓・塞栓溶解術」、「その他(※1)」別の症例件数(※2)。

※1 左記行為を未実施の症例について手術あり・なし別に集計

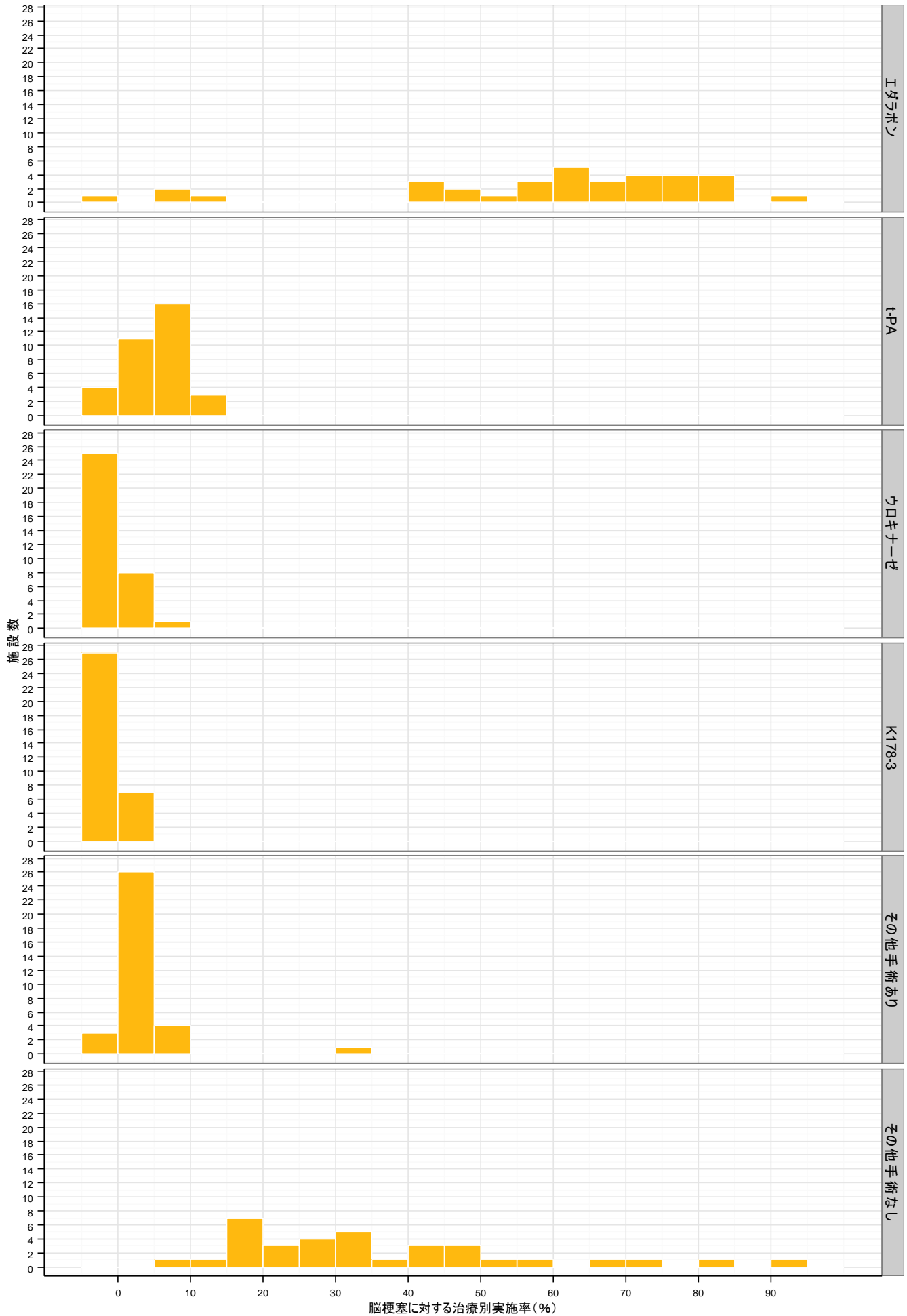
※2 対象の診療行為について複数実施した場合、それぞれへカウント

分母

「医療資源最傷病ICD10」が、I63\$(脳梗塞)である症例件数

	エダラボン	t-PA	ウロキナーゼ	K178-3	その他手術あり	その他手術なし
分子	4,700	501	31	15	251	2,783
全体						
分母	7,851	7,851	7,851	7,851	7,851	7,851
指標	59.86%	6.38%	0.39%	0.19%	3.20%	35.45%
統計値						
平均値	59.86%	6.38%	0.39%	0.19%	3.20%	35.45%
中央値	63.46%	5.26%	0.00%	0.00%	2.75%	31.18%
標準偏差	23.34%	3.28%	1.22%	0.45%	5.65%	20.03%
前年平均	61.31%	6.23%	0.61%	0.33%	2.93%	34.74%

1. 脳血管疾患の各指標



脳梗塞に対するt-PA投与率

分子

分母のうち、入院当日、または、翌日にt-PAが投与された症例件数

分母

「医療資源最傷病ICD10」が、I63\$(脳梗塞)、且つ、「予定・救急医療入院」が「200: 予定外」または「3**: 救急医療入院」である症例件数

※ 但し、以下の症例を除外する

- ・ 入院時年齢が81歳以上
- ・ 様式1のいずれかの傷病名欄に糖尿病(E10\$-E14\$)がある

	H25	H26	H27	H28
分子	180	190	218	221
全体				
分母	3,172	3,140	3,100	3,254
指標	5.67%	6.05%	7.03%	6.79%
統計値				
平均値	5.67%	6.05%	7.03%	6.79%
中央値	4.86%	4.58%	6.03%	4.81%
標準偏差	3.60%	3.92%	3.65%	3.85%

急性脳梗塞に対するリハビリ開始日別比率

分子

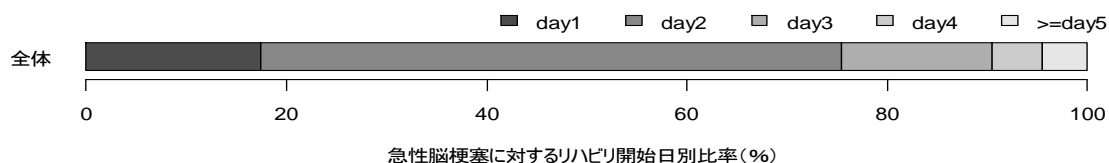
リハビリ開始日別(1日目、2日目、3日目、4日目、5日目以降)の症例件数

分母

「医療資源最傷病ICD10」が、I63\$(脳梗塞)で、「脳卒中の発症時期」が3日以内、「入院時意識障害がある場合のJCS」が0~3(1桁)、且つ、「脳血管疾患等リハビリテーション料(H001)」を入院中に算定している症例件数

※ 但し、除外症例あり(詳細を参照)

	day1	day2	day3	day4	>=day5
分子	932	3,091	804	268	241
全体					
分母	5,336	5,336	5,336	5,336	5,336
指標	17.47%	57.93%	15.07%	5.02%	4.52%
統計値					
平均値	17.47%	57.93%	15.07%	5.02%	4.52%
中央値	12.50%	54.29%	13.20%	4.80%	4.17%
標準偏差	12.99%	12.73%	10.79%	6.26%	5.20%
前年平均	16.64%	57.64%	15.53%	5.04%	5.15%



急性脳梗塞に対する入院後1週間の日別1日あたり平均リハビリ単位数

分子

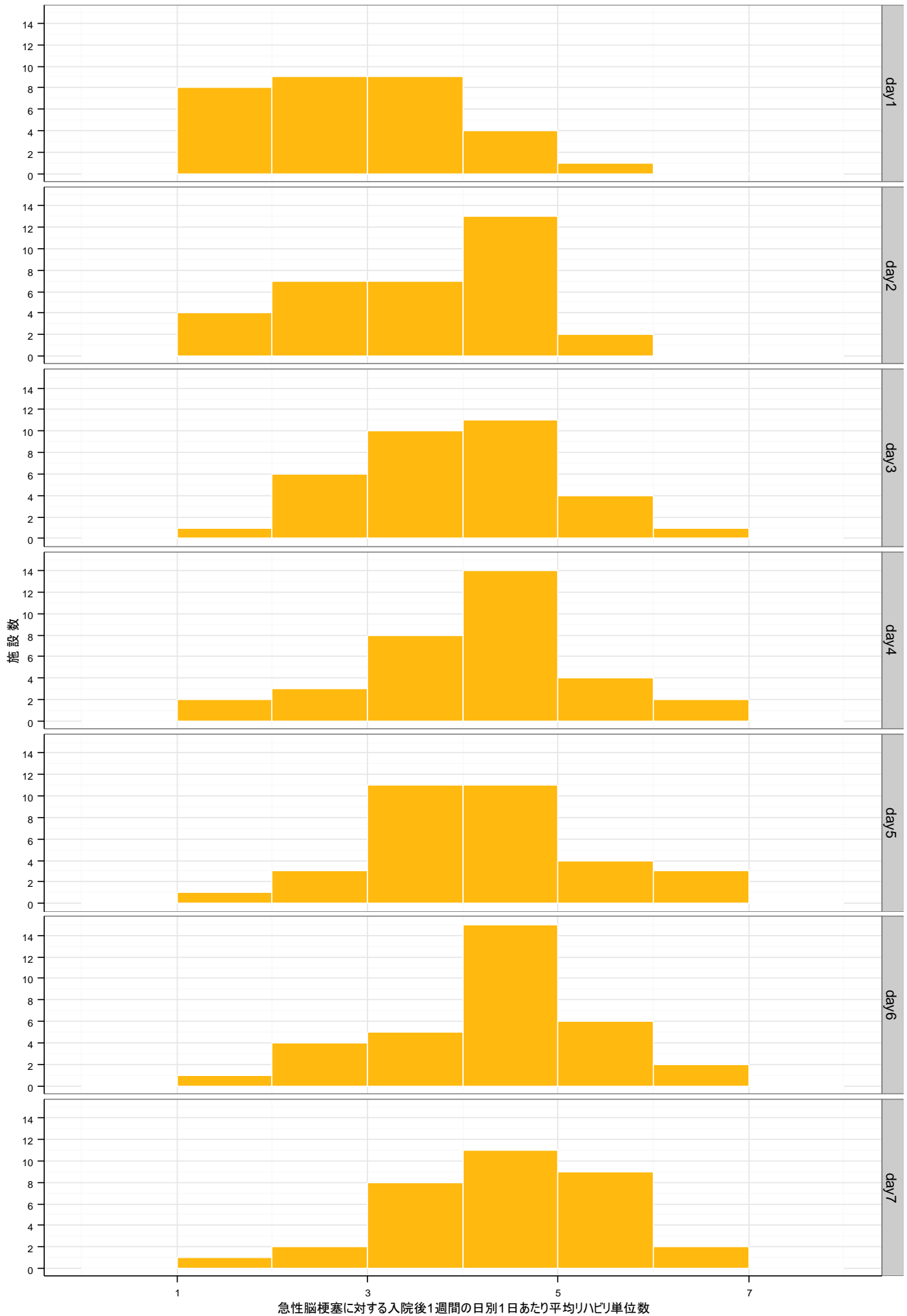
入院経過日数別(1日目～7日目まで)の単位数合計

分母

「医療資源最傷病ICD10」が、I63\$ (脳梗塞)で、「脳卒中の発症時期」が3日以内、「入院時意識障害がある場合のJCS」が0～3(1桁)、且つ、「脳血管疾患等リハビリテーション料(H001)」を入院中に算定している症例の入院経過日数別(1日目～7日目まで)の症例件数

※ 但し、除外症例あり(詳細を参照)

	day1	day2	day3	day4	day5	day6	day7
分子	2,667	14,979	18,133	19,195	19,793	19,751	19,541
全体							
分母	932	3,923	4,349	4,416	4,437	4,345	4,214
指標	2.86	3.82	4.17	4.35	4.46	4.55	4.64
統計値							
平均値	2.86	3.82	4.17	4.35	4.46	4.55	4.64
中央値	3.00	3.93	3.99	4.24	4.19	4.33	4.35
標準偏差	1.27	1.12	1.11	1.16	1.10	1.10	1.04
前年平均	2.66	3.58	3.80	3.94	4.02	4.08	4.11



脳梗塞リハビリテーションにおける総合計画評価料・退院時指導の実施率

分子

「H003-2:リハビリテーション総合計画評価料」の算定、「B006-3:退院時リハビリテーション指導料」の算定、当指標に関わる評価料・指導料の「算定なし」別の症例件数。

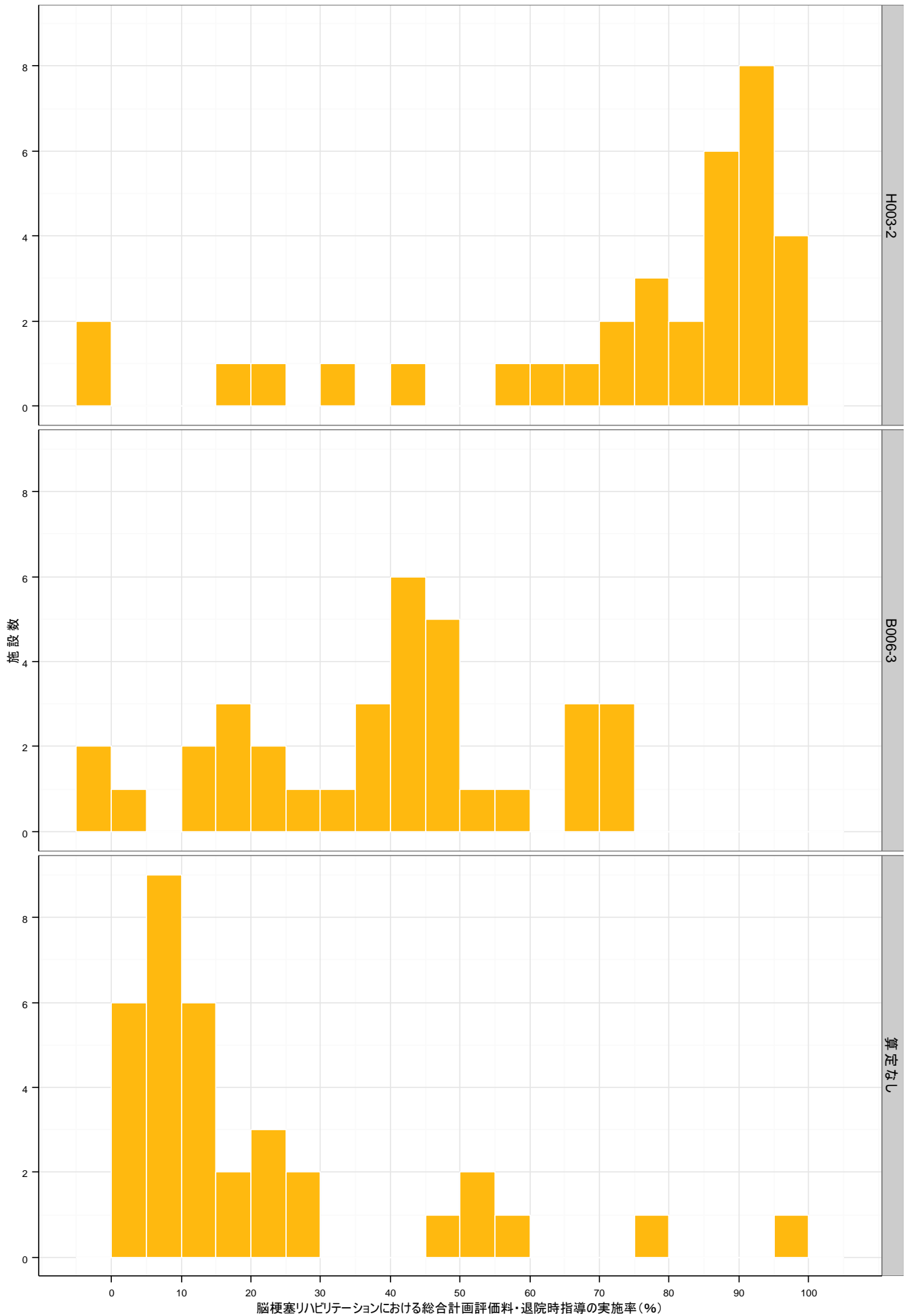
※ 両方を算定した場合は、それぞれにカウント。

分母

「医療資源最傷病ICD10」が、I63\$(脳梗塞)である症例件数

※ 但し、「退院時転帰」が「死亡(6または7)」の症例は除外する

		H003-2	B006-3	算定なし
全体	分子	5,966	2,954	1,110
	分母	7,460	7,460	7,460
	指標	79.97%	39.60%	14.88%
統計値				
	平均値	79.97%	39.60%	14.88%
	中央値	86.17%	40.97%	10.83%
	標準偏差	28.06%	21.18%	23.36%
	前年平均	75.93%	36.33%	18.77%



脳梗塞における誤嚥性肺炎の入院後発症率

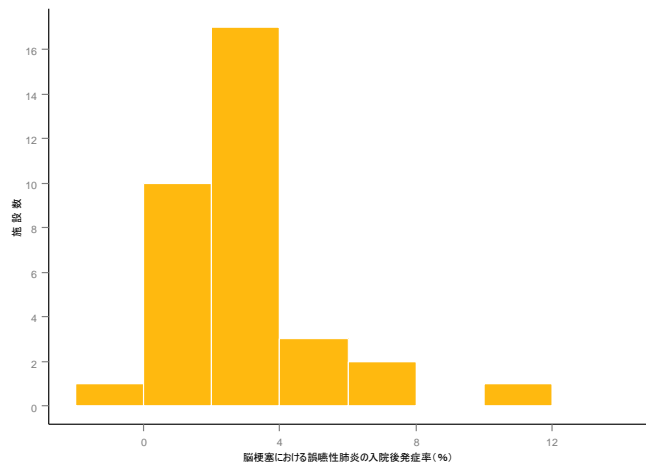
分子

分母のうち、「入院後発症疾患ICD10」が、J69\$（固形物および液状物による肺臓炎）」である症例件数
 ※ ただし、「入院契機ICD10」または「入院時併存症ICD10」に、J69\$（固形物および液状物による肺臓炎）の記載がある症例は含めない

分母

「入院契機ICD10」または「入院時併存症ICD10」が、I63\$（脳梗塞）である症例件数

	分子	分母	指標
全体	367	11,874	3.09%
統計値			
平均値	3.09%	前年度平均	3.54%
中央値	2.46%		
標準偏差	2.24%	集計対象34施設	



脳梗塞における退院時modified Rankin Scale別構成比率

分子

「退院時modified Rankin Scale」別の症例件数

分母

「医療資源最傷病ICD10」が、I63\$（脳梗塞）である症例件数
 ※ 但し、「退院時転帰」が「死亡(6または7)」の症例は除外する

施設	症候なし	障害なし	軽度	中等度	中等～重度	重度	不明
分子	881	1,763	1,397	996	1,520	887	16
全体	分母	7,460	7,460	7,460	7,460	7,460	7,460
	指標	11.81%	23.63%	18.73%	13.35%	20.38%	11.89%
統計値							
	平均値	11.81%	23.63%	18.73%	13.35%	20.38%	11.89%
	中央値	10.11%	23.54%	18.47%	12.79%	20.69%	11.23%
	標準偏差	7.65%	7.39%	8.26%	4.22%	10.00%	6.19%
	前年平均	12.39%	25.27%	16.43%	11.26%	18.14%	11.03%



脳梗塞における死亡率(年齢階級別)

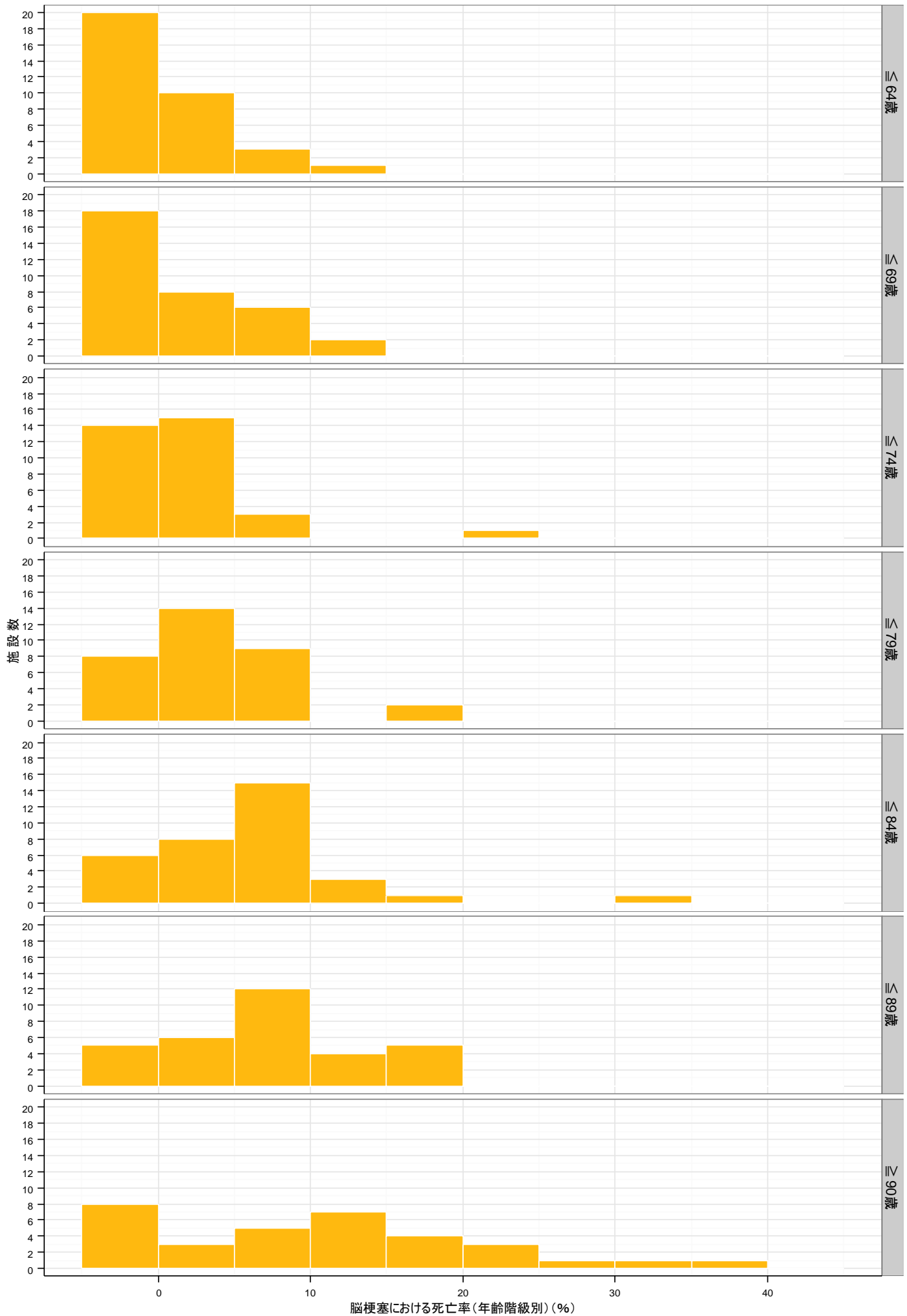
分子

分母のうち、「退院時転帰」が「死亡(6または7)」の症例件数
 ※「24時間以内の死亡の有無」が「処置室等死亡(2)」を除く

分母

「医療資源最傷病ICD10」が、I63\$(脳梗塞)である症例の年齢階級別の件数

	≤64歳	≤69歳	≤74歳	≤79歳	≤84歳	≤89歳	≥90歳
分子	25	24	24	54	79	75	108
全体 分母	1,397	999	1,050	1,251	1,342	1,048	764
指標	1.79%	2.40%	2.29%	4.32%	5.89%	7.16%	14.14%
統計値							
平均値	1.79%	2.40%	2.29%	4.32%	5.89%	7.16%	14.14%
中央値	0.00%	0.00%	1.70%	3.70%	5.88%	6.70%	10.56%
標準偏差	2.95%	3.61%	4.58%	4.45%	6.32%	6.31%	10.32%
前年平均	1.96%	3.16%	2.70%	4.56%	6.01%	9.14%	13.12%



脳梗塞における観測死亡率と予測死亡率における死亡比

分子

観測分子:「退院時転帰」が「死亡(6または7)」である症例件数
 予測分子: 年齢、性別、入院時JCSが「Ⅱ群」、「Ⅲ群」、入院時Rsが「5」、Charlson Score、入院契機ICDがI50\$(心不全)、R40\$(傾眠、昏迷および昏睡)に基づきリスク調整後の予測死亡症例件数

分母

「医療資源最傷病ICD10」がI63\$(脳梗塞)である症例件数
 ※ 但し、「退院時転帰」が「9:その他(検査入院含む)」を除く
 ※ 「24時間以内の死亡の有無」が「処置室等死亡(2)」を除く

施設	odds	施設	odds
xy1	0.73	xy22	0.66
xy2	0.89	xy23	1.08
xy3	0.71	xy24	1.64
xy4	1.72	xy25	0.67
xy5	0.77	xy26	1.05
xy6	1.53	xy27	1.57
xy7	1.06	xy28	1.74
xy8	1.62	xy29	0.82
xy9	0.61	xy30	2.04
xy10	1.47	xy31	0.00
xy11	0.00	xy32	0.98
xy12	0.82	xy33	1.22
xy13	0.56	xy34	1.34
xy14	0.50		
xy15	0.99		
xy16	0.84		
xy17	0.50	全体	1.00
xy18	0.12		
xy19	1.44	※「odds」の値は、「観測分子」÷「予測分子」にて算出しております。この値が1を超える場合は、実際の発生数が統計的に算出した予測発生数より大きいことを意味し、1より低い場合は予測発生数より低いことを意味します。	
xy20	1.43		
xy21	1.94		

くも膜下出血における開頭術、血管内手術等の構成比率

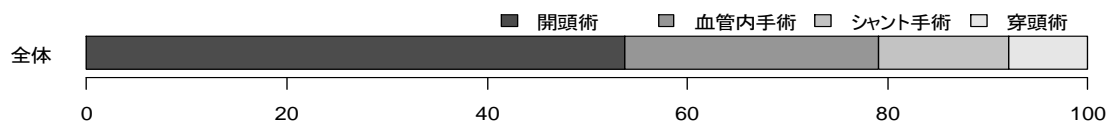
分子

開頭術、血管内手術、シャント手術、穿頭術、別の手術実施件数

分母

「医療資源最傷病ICD10」が、「I60\$（くも膜下出血）」で、且つ、開頭術、血管内手術、シャント手術、穿頭術のいずれかの実施件数合計
 ※ 1症例が複数実施の場合、複数カウント

	開頭術	血管内手術	シャント手術	穿頭術
分子	390	183	95	57
全体	725	725	725	725
指標	53.79%	25.24%	13.10%	7.86%
統計値				
平均値	53.79%	25.24%	13.10%	7.86%
中央値	51.29%	21.11%	14.55%	3.77%
標準偏差	25.47%	29.26%	10.05%	7.02%
前年平均	54.15%	25.60%	13.50%	6.75%



くも膜下出血における開頭術、血管内手術等の構成比率 (%)

未破裂脳動脈瘤における開頭術と血管内手術の割合

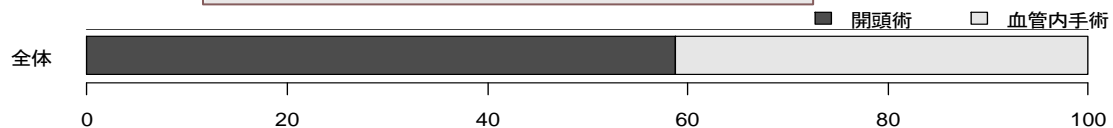
分子

開頭術、血管内手術別の手術実施件数

分母

「医療資源最傷病ICD10」が、「I670」または「I671（未破裂脳動脈瘤）」で、開頭術、血管内手術のいずれかの実施件数合計
 ※ 1症例が複数実施の場合、複数カウント

	開頭術	血管内手術
分子	241	169
全体	410	410
指標	58.78%	41.22%
統計値		
平均値	58.78%	41.22%
中央値	70.98%	29.02%
標準偏差	27.60%	27.60%
前年平均	54.79%	45.21%



未破裂脳動脈瘤における開頭術と血管内手術の割合 (%)

脳梗塞の心房細動合併に対する退院時ワーファリン、NOAC投与率

分子

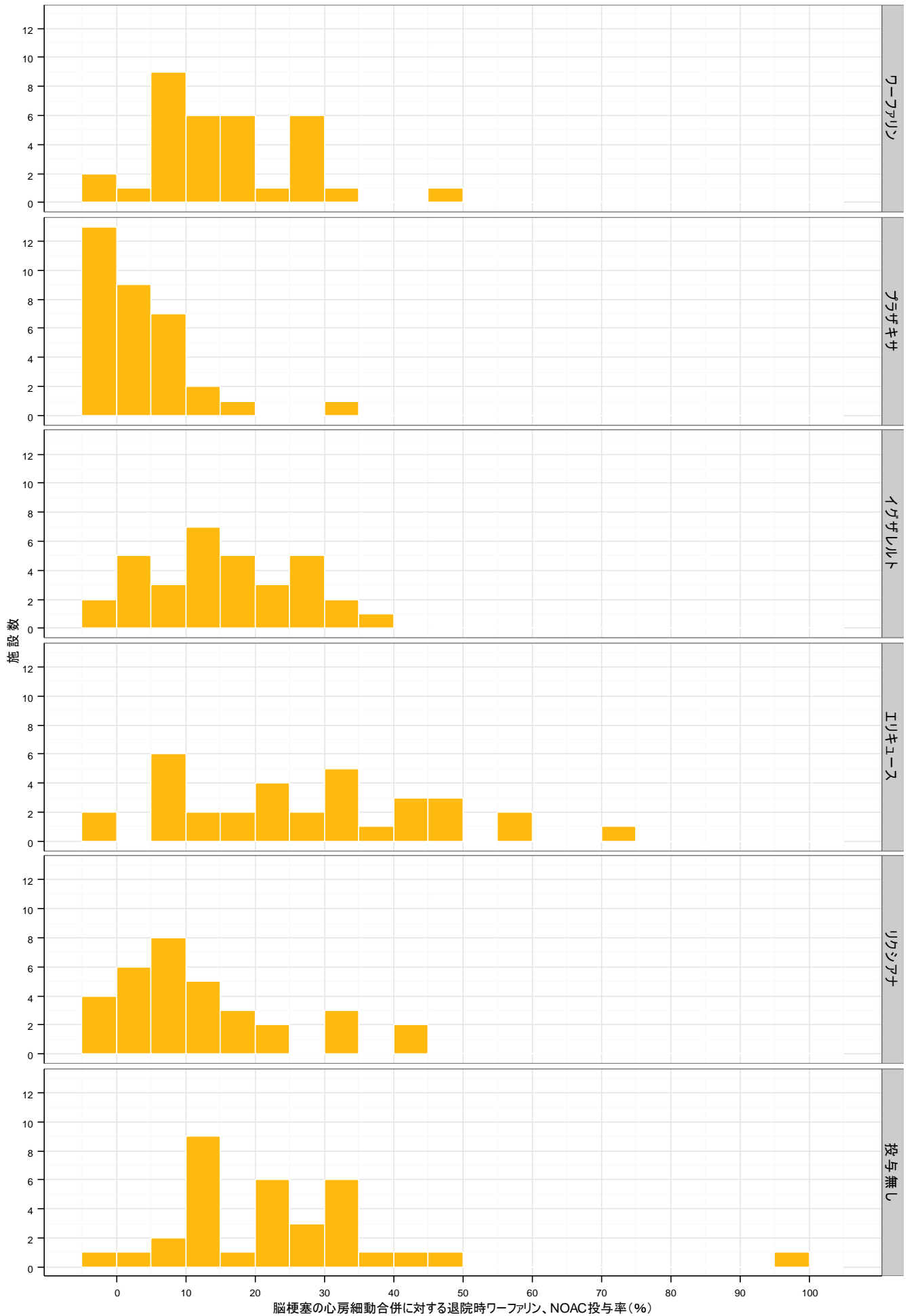
分母のうち、退院日から遡って3日以内に、ワーファリン、プラザキサ、イグザレルト、エリキュース、リクシアナの投与、および、これらの投与無し別の症例件数

分母

「医療資源最傷病ICD10」が、「I63\$(脳梗塞)」かつ、「入院契機ICD」、「入院時併存症ICD」または「入院後発症疾患ICD」が、「I48(心房細動および粗動)」である症例件数

※ 但し、「退院時転帰」が「死亡(6または7)」の症例は除外する

	ワーファリン	プラザキサ	イグザレルト	エリキュース	リクシアナ	投与無し
分子	303	64	234	530	209	380
全体						
分母	1,704	1,704	1,704	1,704	1,704	1,704
指標	17.78%	3.76%	13.73%	31.10%	12.27%	22.30%
統計値						
平均値	17.78%	3.76%	13.73%	31.10%	12.27%	22.30%
中央値	14.62%	3.33%	14.29%	26.00%	9.52%	23.21%
標準偏差	10.19%	6.54%	10.94%	17.72%	12.19%	17.81%
前年平均	20.37%	5.47%	15.58%	31.65%	8.82%	19.07%



心房細動に対する予防的ワーファリン、NOAC投与率

分子

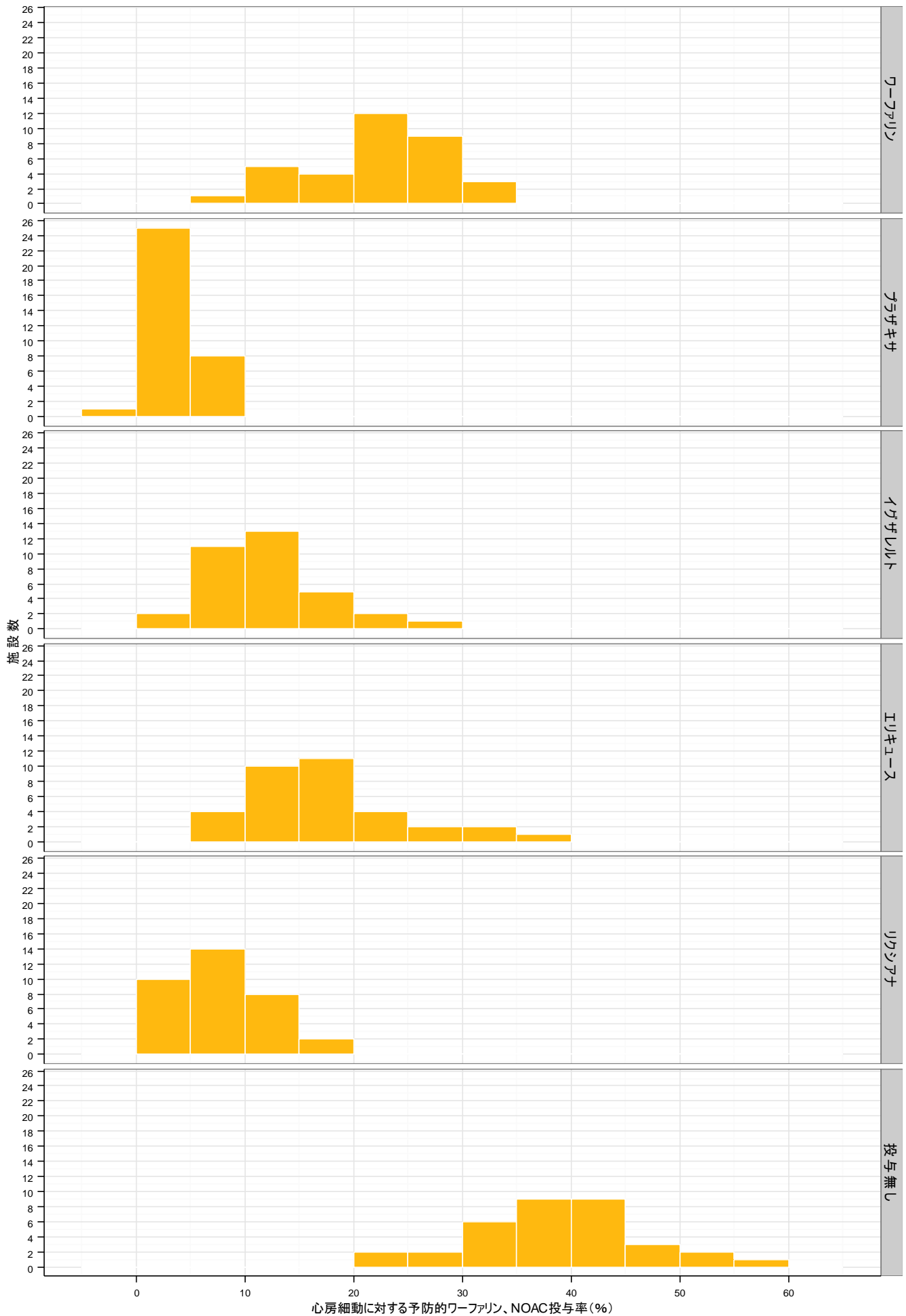
分母のうち、ワーファリン、プラザキサ、イグザレルト、エリキュース、リクシアナの投与、および、これらの投与無し別の症例件数

分母

様式1のいずれかの傷病名欄に「I48(心房細動および粗動)」がある症例で、且つ、I60\$, 61\$, I62\$, I63\$, I64\$, I65\$, I66\$, I67\$, I68\$, I69\$(脳血管疾患)がない症例件数

※ 但し、「退院時転帰」が「死亡(6または7)」の症例は除外する

	ワーファリン	プラザキサ	イグザレルト	エリキュース	リクシアナ	投与無し
分子	3,701	506	1,794	2,738	1,202	5,606
全体 分母	15,180	15,180	15,180	15,180	15,180	15,180
指標	24.38%	3.33%	11.82%	18.04%	7.92%	36.93%
統計値						
平均値	24.38%	3.33%	11.82%	18.04%	7.92%	36.93%
中央値	22.86%	3.22%	12.12%	16.64%	7.13%	38.34%
標準偏差	6.53%	1.96%	5.26%	7.60%	4.08%	7.77%
前年平均	28.31%	4.45%	11.09%	18.47%	3.19%	37.16%



2. 虚血性心疾患等の各指標

急性心筋梗塞における平均在院日数

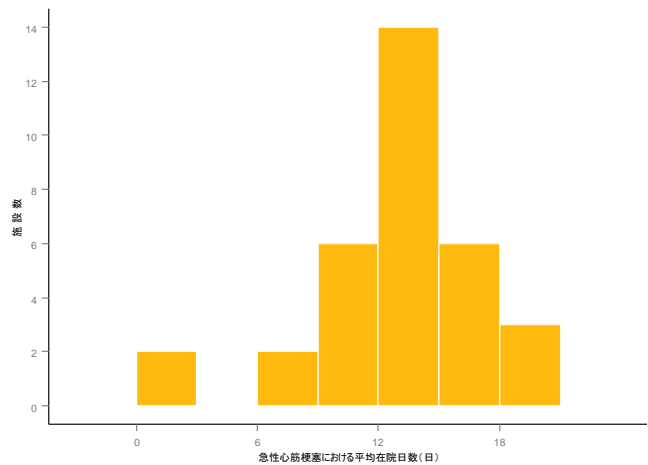
分子

分母症例の在院日数合計

分母

「入院契機ICD10」、且つ、「医療資源最傷病ICD10」が、I21\$（急性心筋梗塞）、I22\$（再発性心筋梗塞）、I24\$（その他の急性虚血性心疾患）のいずれかである症例件数
 ※ その他病棟への転棟を除く

	分子	分母	指標
全体	34,547	2,498	13.83
統計値			
平均値	13.83	前年度平均	13.99
中央値	13.34		
標準偏差	4.22	集計対象33施設	



急性心筋梗塞における入院時Killip分類別在院日数分布

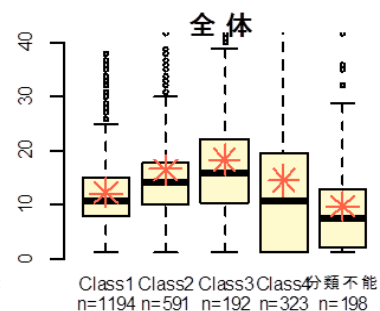
分子

分母症例の在院日数合計

分母

「入院契機ICD10」、且つ、「医療資源最傷病ICD10」が、I21\$（急性心筋梗塞）、I22\$（再発性心筋梗塞）、I24\$（その他の急性虚血性心疾患）のいずれかである症例の「Killip分類」別の症例件数
 ※ その他病棟への転棟を除く

	Class1	Class2	Class3	Class4	分類不能
全体	分子 14,612	9,774	3,531	4,713	1,917
	分母 1,194	591	192	323	198
	指標 12.24	16.54	18.39	14.59	9.68
統計値					
	平均値 12.24	16.54	18.39	14.59	9.68
	中央値 12.17	16.22	15.13	13.12	3.67
	標準偏差 6.59	6.54	11.94	9.21	5.46
	前年平均 12.03	15.25	16.91	18.53	7.47



急性心筋梗塞に対する入院時 β 遮断薬投与率

分子

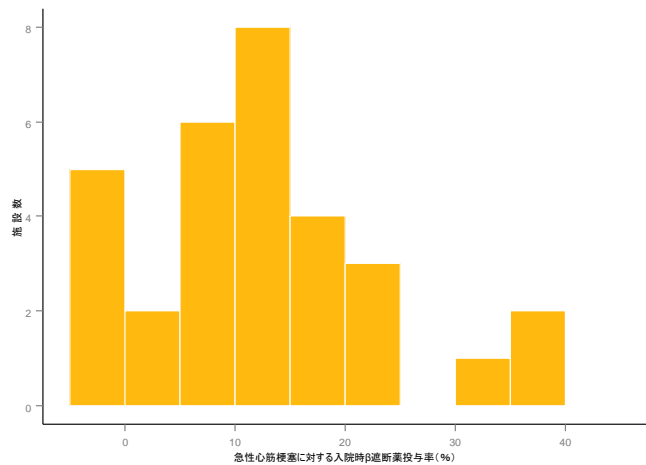
分母のうち、入院当日もしくは翌日に β 遮断薬の投与がある症例件数

分母

「入院契機ICD10」、且つ、「医療資源最傷病ICD10」がI21\$（急性心筋梗塞）、I22\$（再発性心筋梗塞）、I24\$（その他の急性虚血性心疾患）のいずれかである症例件数

※ 但し、「退院時転帰」が「死亡(6または7)」、「Killip分類」が「Class4」である症例を除外する。

	分子	分母	指標
全体	320	2,056	15.56%
統計値			
平均値	15.56%	前年度平均	15.12%
中央値	11.11%		
標準偏差	10.28%	集計対象31施設	



急性心筋梗塞に対する退院時アスピリン等投与率

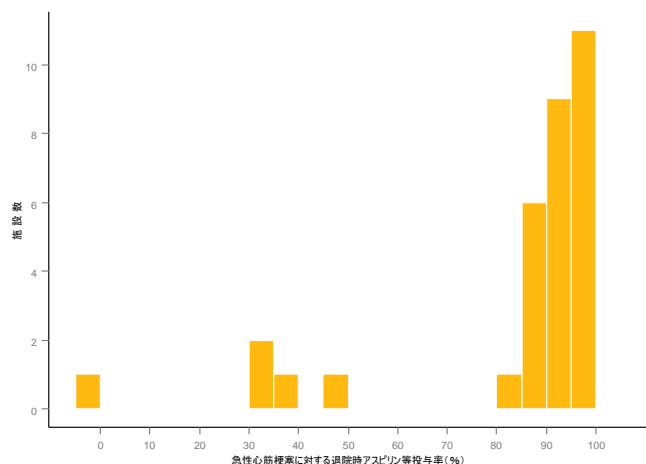
分子

分母のうち、退院日から遡って3日以内にアスピリン、硫酸クロピドグレル（プラビックス）、シロスタゾール、塩酸チクロピジン、ダビガトランエテキシラートメタンスルホン酸塩（プラザキサ）、リバーロキサンのいずれかの投与がある症例件数

分母

「医療資源最傷病ICD10」が、I21\$（急性心筋梗塞）、I22\$（再発性心筋梗塞）、I24\$（その他の急性虚血性疾患）である症例件数

	分子	分母	指標
全体	1,891	2,103	89.92%
統計値			
平均値	89.92%	前年度平均	88.86%
中央値	92.93%		
標準偏差	24.26%	集計対象32施設	



急性心筋梗塞に対する退院時 β 遮断薬投与率

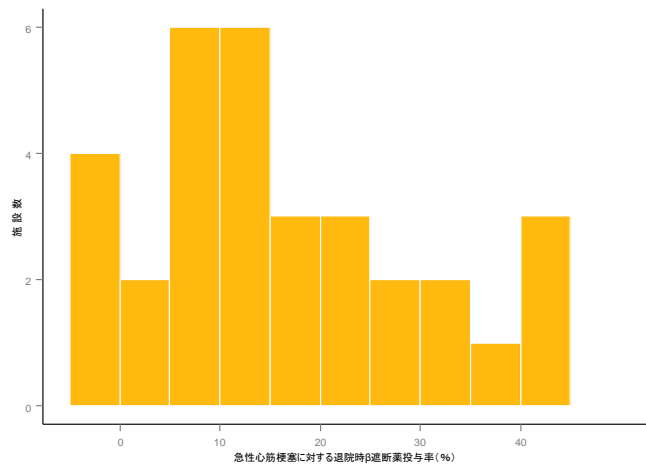
分子

分母のうち、退院日から遡って3日以内に β 遮断薬の投与がある症例件数

分母

「医療資源最傷病ICD10」が、I21\$（急性心筋梗塞）、I22\$（再発性心筋梗塞）、I24\$（その他の急性虚血性疾患）である症例件数

	分子	分母	指標
全体	456	2,103	21.68%
統計値			
平均値	21.68%	前年度平均	20.44%
中央値	13.75%		
標準偏差	12.80%	集計対象32施設	



急性心筋梗塞に対する退院時ACE阻害薬またはARBの投与率

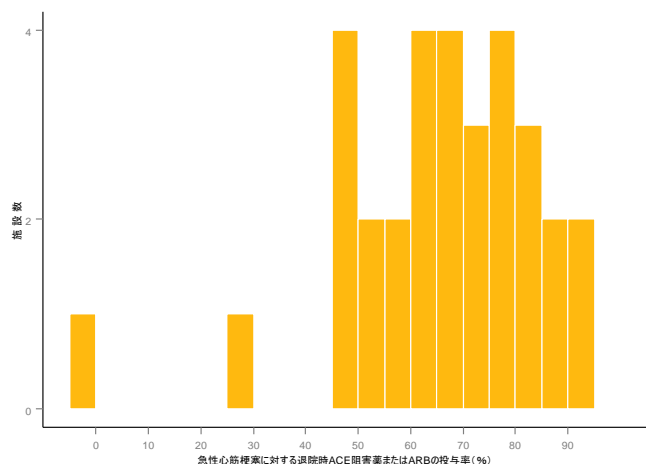
分子

分母のうち、退院日から遡って3日以内にACE阻害薬またはARBの投与がある症例件数

分母

「医療資源最傷病ICD10」が、I21\$（急性心筋梗塞）、I22\$（再発性心筋梗塞）、I24\$（その他の急性虚血性疾患）である症例件数

	分子	分母	指標
全体	1,473	2,103	70.04%
統計値			
平均値	70.04%	前年度平均	69.59%
中央値	68.74%		
標準偏差	19.13%	集計対象32施設	



急性心筋梗塞における入院時Killip分類別死亡率

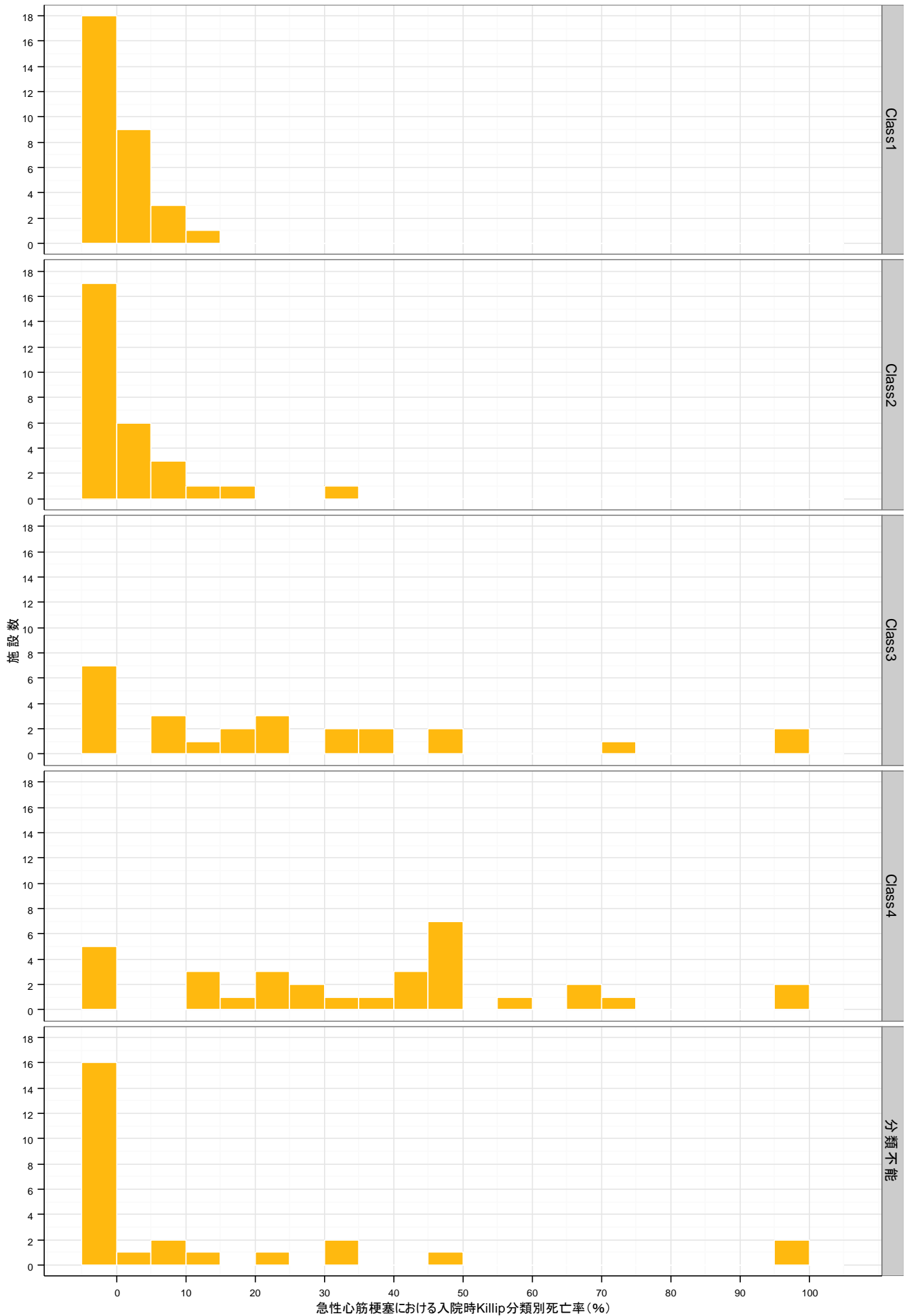
分子

分母のうち、「退院時転帰」が「死亡(6または7)」である症例の「Killip分類」別症例件数
 ※「24時間以内の死亡の有無」が「処置室等死亡(2)」を除く

分母

「入院契機ICD10」、且つ、「医療資源最傷病ICD10」が、I21\$(急性心筋梗塞)、I22\$(再発性心筋梗塞)、I24\$(その他の急性虚血性心疾患)のいずれかである症例件数

施設	Class1	Class2	Class3	Class4	分類不能
分子	22	16	28	100	21
全体					
分母	1,197	594	193	323	198
指標	1.84%	2.69%	14.51%	30.96%	10.61%
統計値					
平均値	1.84%	2.69%	14.51%	30.96%	10.61%
中央値	0.00%	0.00%	7.14%	37.50%	0.00%
標準偏差	2.96%	6.98%	28.08%	27.31%	25.86%
前年平均	1.04%	3.21%	8.96%	29.75%	14.18%



急性心筋梗塞における観測死亡率と予測死亡率における死亡比

分子

観測分子:「退院時転帰」が「死亡(6または7)」である症例件数
 予測分子: 年齢、性別、Killip分類が「1」または「2」であるか、入院時JCSが「Ⅱ群」または「Ⅲ群」であるか、入院契機が「R57\$(ショック)」、「I46\$(心停止)」であるか、に基づきリスク調整後の予測死亡症例件数

分母

「医療資源最傷病ICD10」が、I21\$(急性心筋梗塞)、I22\$(再発性心筋梗塞)、I24\$(その他の急性虚血性疾患)である症例件数
 ※ 但し、「退院時転帰」が「9:その他(検査入院含む)」を除く
 ※ 「24時間以内の死亡の有無」が「処置室等死亡(2)」を除く

施設	odds	施設	odds
xx1	0.94	xx22	0.73
xx2	0.24	xx23	1.48
xx3	1.18	xx24	0.73
xx4	0.67	xx25	1.22
xx5	0.55	xx26	1.32
xx6	1.10	xx27	0.61
xx7	1.21	xx28	1.46
xx8	3.27	xx29	1.64
xx9	0.99	xx30	1.82
xx10	0.78	xx31	1.32
xx11	1.88	xx32	1.04
xx12	0.47	xx33	1.51
xx13	1.18	xx34	1.56
xx14	0.62		
xx15	0.61		
xx16	0.82		
xx17	1.35	全体	1.00
xx18	1.22		
xx19	1.76		
xx20	1.21		
xx21	1.40		

※ 「odds」の値は、「観測分子」÷「予測分子」にて算出しております。この値が1を超える場合は、実際の発生数が統計的に算出した予測発生数より大きいことを意味し、1より低い場合は予測発生数より低いことを意味します。

PCI実施症例における疾病別構成比率

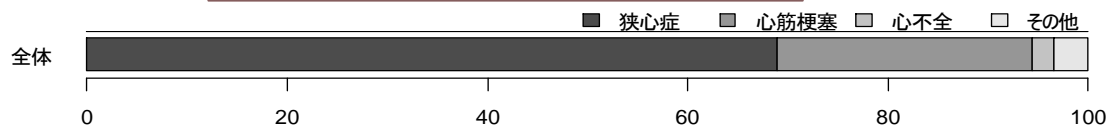
分子

分母における「医療資源最傷病ICD10」別(狭心症(I20\$, I25\$)、心筋梗塞(I21\$, I22\$, I24\$)、心不全(I50\$)、その他)の症例件数

分母

PCI(K546\$, K547, K548\$, K549\$のいずれか)を施行した症例件数

	狭心症	心筋梗塞	心不全	その他
分子	6,356	2,349	202	311
全体	9,218	9,218	9,218	9,218
指標	68.95%	25.48%	2.19%	3.37%
統計値				
平均値	68.95%	25.48%	2.19%	3.37%
中央値	67.83%	26.42%	1.40%	2.93%
標準偏差	11.14%	11.17%	2.74%	2.55%
前年平均	68.48%	25.40%	2.48%	3.64%



PCI実施症例における疾病別構成比率(%)

PCI実施症例のPCI再施行のための再入院率

分子

分母のうち、PCIのため複数回入院した患者件数

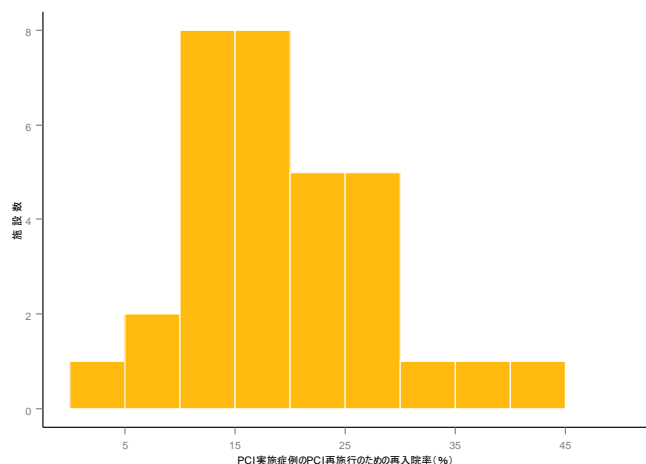
分母

直近2年間の期間で、PCI(K546\$, K547, K548\$, K549\$のいずれか)を施行した患者数

(同一病院で複数回入院しても一患者としてカウント)

※ 但し、集計期間中に死亡した患者は除外する

	分子	分母	指標
全体	2,842	14,067	20.20%
統計値			
平均値	20.20%	前年度平均	20.31%
中央値	18.18%		
標準偏差	8.22%	集計対象32施設	



心不全に対する退院時のACE阻害薬、ARB、 β 遮断薬等の処方率

分子

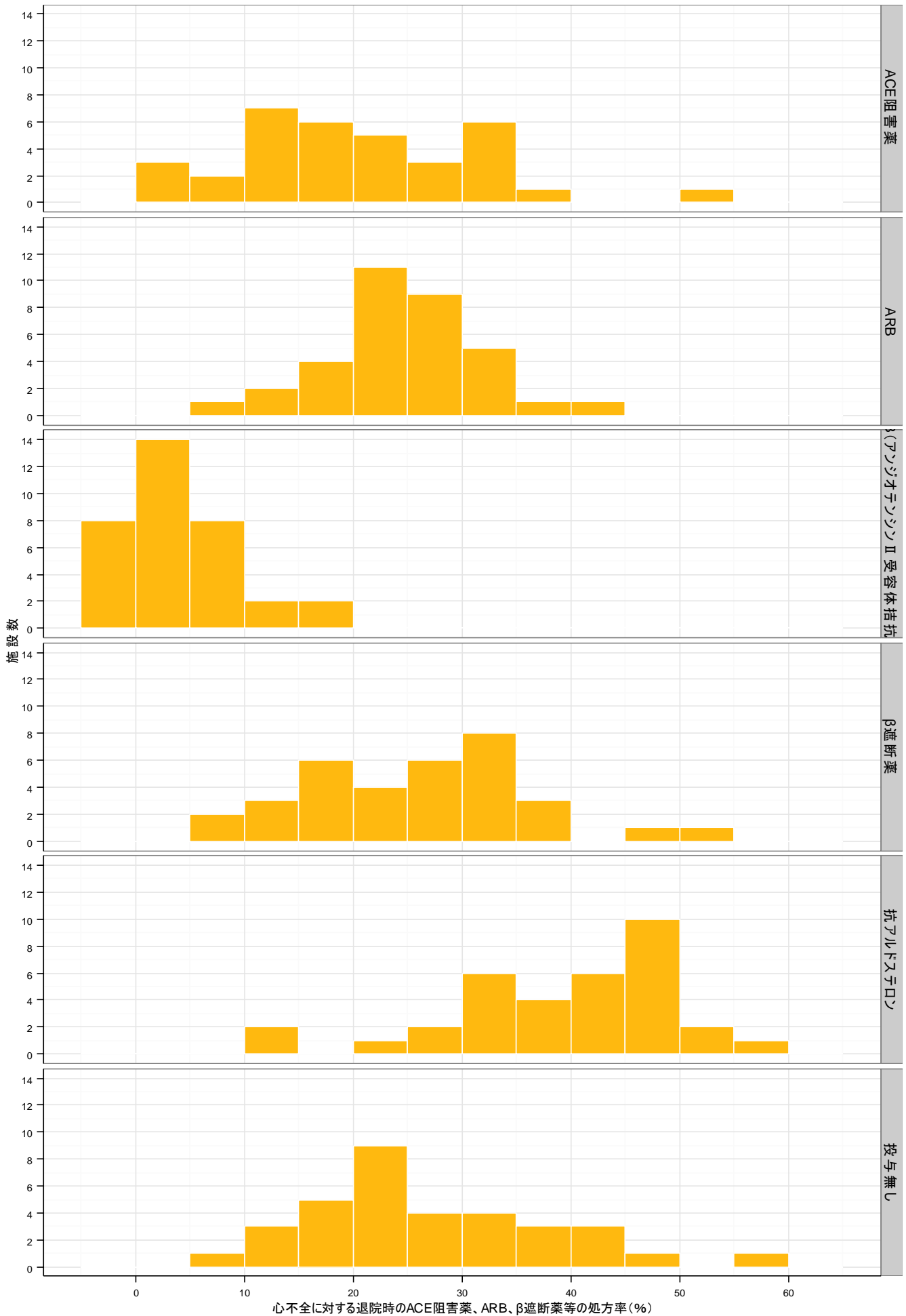
分母のうち、退院日から遡って3日以内にACE阻害薬（アンジオテンシン変換酵素阻害薬）、ARB（アンジオテンシンⅡ受容体拮抗薬）、 β 遮断薬、抗アルドステロンの投与、および、これらの投与無し別の症例件数

分母

「医療資源最傷病ICD10」が、I50\$（心不全）である症例件数

※ 但し、「退院時転帰」が「死亡(6または7)」、または、「退院先」が「4: 他の病院・診療所への転院、5: 介護老人保健施設に入所、6: 介護老人福祉施設に入所、7: 社会福祉施設、有料老人ホーム等に入所」、または、「Killip分類」が「Class4」である症例は除外

	ACE阻害薬	ARB	β 遮断薬	抗アルドステロン	投与無し
全体	分子 1,090	1,407	1,376	2,026	1,217
	分母 4,813	4,813	4,813	4,813	4,813
	指標 22.65%	29.23%	28.59%	42.09%	25.29%
統計値					
	平均値 22.65%	29.23%	28.59%	42.09%	25.29%
	中央値 19.48%	28.94%	26.92%	40.75%	24.26%
	標準偏差 11.30%	8.37%	10.01%	11.07%	11.51%
	前年平均 23.09%	28.08%	25.65%	41.90%	26.96%



3. 悪性腫瘍の各指標

5大癌の患者数

分子

「医療資源最傷病ICD10」が、C16\$、D002(胃癌)、C18\$、C19、C20、D010、D011、D012(大腸癌)、C22\$(肝癌)、C34\$、D022(肺癌)、C50、D05(乳癌)の実患者数
 ※ 複数回入院しても1例としてカウント。(ただし、癌の病名が異なる場合は別々にカウントする。)

分母 -

	H25	H26	H27	H28
胃癌	4,294	4,386	4,378	4,443
大腸癌	5,129	5,362	5,587	5,583
全体	2,419	2,390	2,227	2,250
肺癌	4,667	4,787	5,095	5,217
乳癌	2,726	2,957	3,201	3,104

胃癌における術式別構成比率

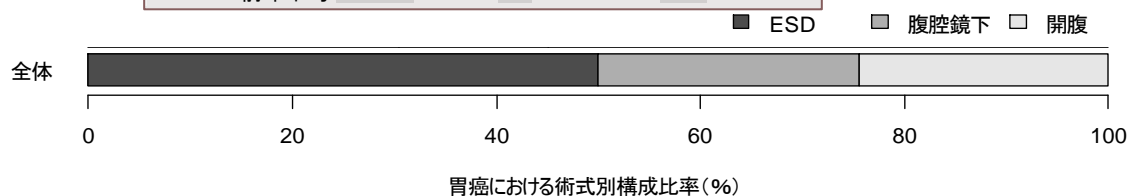
分子

「ESD」、「腹腔鏡下」、「開腹」別(下記詳細を参照)の実施件数

分母

「医療資源最傷病ICD10」が、C16\$、D002(胃癌)である症例のうち、下記詳細の手術の実施件数
 ※ 同一手術、異なる手術に関わらず複数回実施した場合は、複数回としてカウント。

	ESD	腹腔鏡下	開腹	
全体	分子	1,574	808	770
	分母	3,152	3,152	3,152
	指標	49.94%	25.63%	24.43%
統計値				
	平均値	49.94%	25.63%	24.43%
	中央値	42.96%	23.04%	25.84%
	標準偏差	17.29%	15.44%	20.76%
	前年平均	49.17%	21.15%	29.68%



大腸癌における術式別構成比率

分子

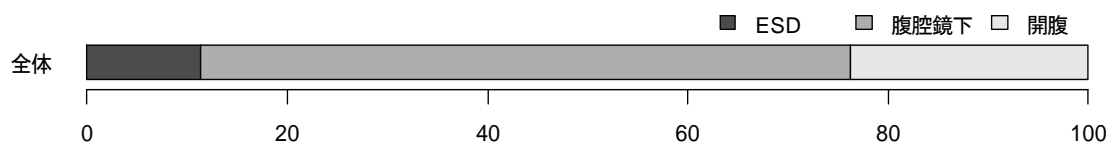
「ESD」、「腹腔鏡下」、「開腹」別(下記詳細を参照)の実施件数

分母

「医療資源最傷病ICD10」が、C18\$, C19、C20、D010、D011、D012(大腸癌)である症例のうち、下記詳細の手術の実施件数

※ 同一手術、異なる手術に関わらず複数回実施した場合は、複数回としてカウント。

	ESD	腹腔鏡下	開腹
分子	380	2,177	794
分母	3,351	3,351	3,351
指標	11.34%	64.97%	23.69%
統計値			
平均値	11.34%	64.97%	23.69%
中央値	4.95%	63.65%	21.38%
標準偏差	8.80%	20.27%	22.19%
前年平均	11.44%	58.74%	29.82%



大腸癌における術式別構成比率(%)

初発肝細胞癌の治療別実施率(肝動脈塞栓術、ラジオ波焼灼術、肝切除術)

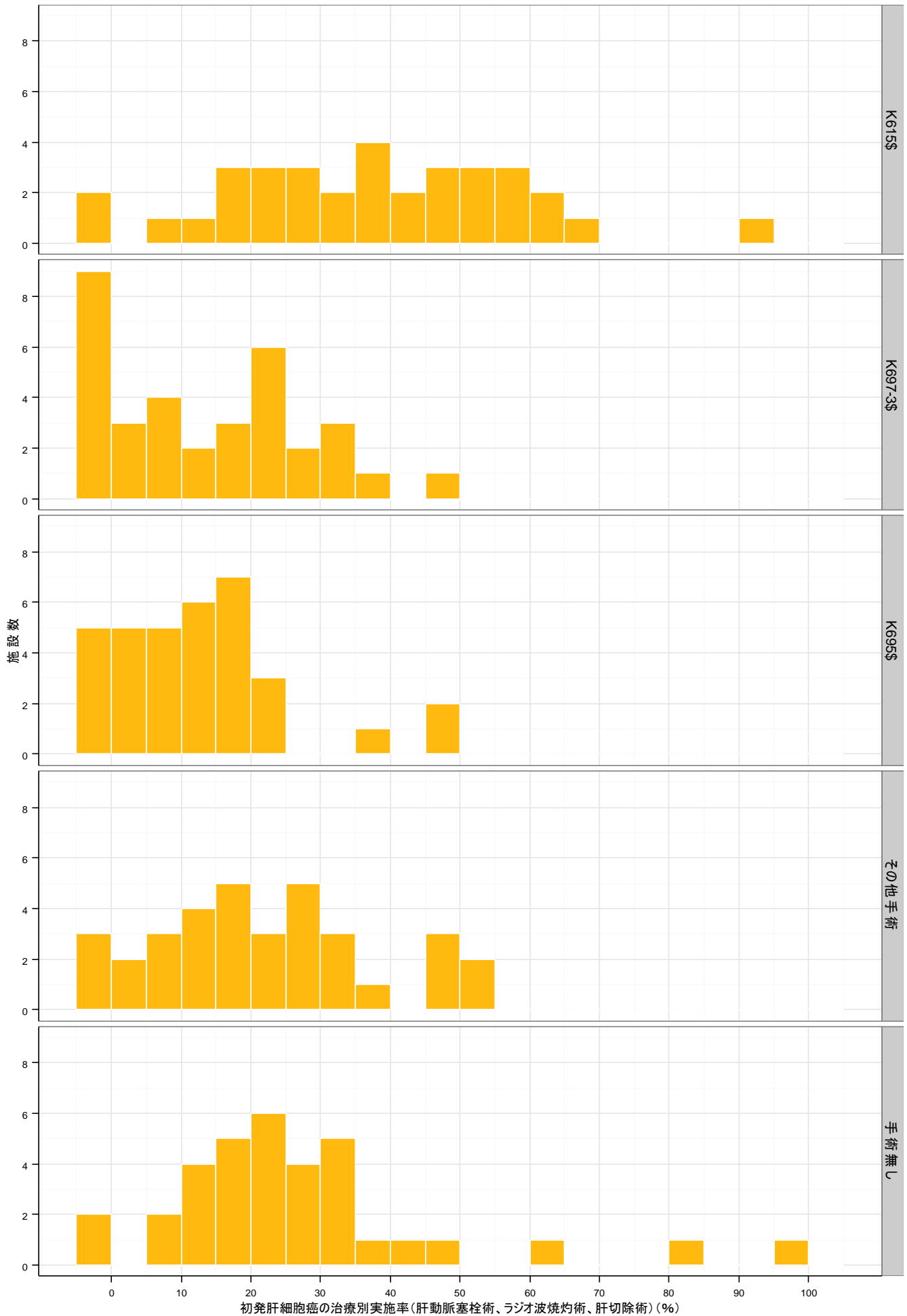
分子

分母のうち、「K615\$:血管塞栓術(頭部、胸腔、腹腔内血管)、血管内塞栓材を用いるもの(動脈塞栓術、動脈化学塞栓術等を含む)」、「K697-3\$:肝悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法」、「K695\$:肝切除術」、「その他手術(輸血を除く)」、「手術無し」のそれぞれの実施件数(複数実施している場合は複数カウント)

分母

「医療資源最傷病ICD10」が、C220(肝細胞癌)で、「初発」である症例件数

	K615\$	K697-3\$	K695\$	その他手術	手術無し
分子	511	215	192	318	324
分母	1,315	1,315	1,315	1,315	1,315
指標	38.86%	16.35%	14.60%	24.18%	24.64%
統計値					
平均値	38.86%	16.35%	14.60%	24.18%	24.64%
中央値	38.32%	11.81%	11.44%	20.25%	24.37%
標準偏差	20.40%	12.92%	12.17%	15.56%	20.90%
前年平均	38.54%	18.45%	14.51%	20.43%	26.09%



乳癌に対するセンチネルリンパ節生検実施率

分子

分母のうち、「D409-2\$センチネルリンパ節生検」または「センチネルリンパ節加算1、または、加算2」を算定した症例件数

分母

「医療資源最傷病ICD10」が、C50\$、D05\$(乳癌)である症例のうち、下記詳細の手術を実施した症例件数

	H25	H26	H27	H28
分子	1,473	1,592	1,848	1,795
全体				
分母	2,107	2,182	2,457	2,412
指標	69.91%	72.96%	75.21%	74.42%
統計値				
平均値	69.91%	72.96%	75.21%	74.42%
中央値	68.90%	70.11%	72.08%	70.50%
標準偏差	28.89%	25.61%	19.43%	22.44%

乳癌に対するステージ別乳房温存手術実施率

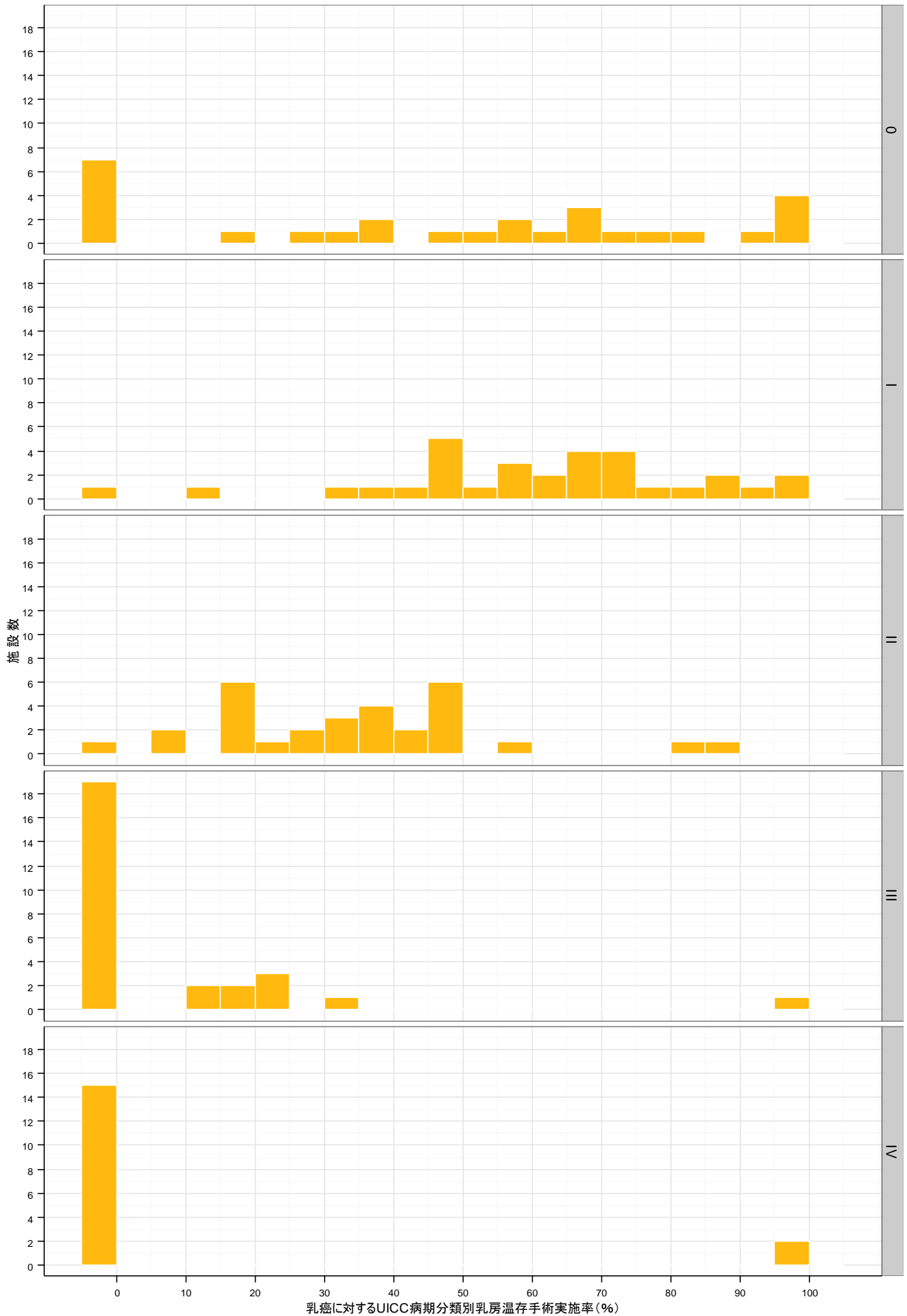
分子

分母のうち、重症度別の「K4762:乳腺悪性腫瘍手術 乳房部分切除術(腋窩部郭清を伴わないもの)」または「K4764:乳腺悪性腫瘍手術 乳房部分切除術(腋窩部郭清を伴うもの(内視鏡下によるものを含む))」を実施した症例件数

分母

「医療資源最傷病ICD10」が、C50\$、D05\$(乳癌)である症例のうち、下記詳細の手術を実施した症例件数

	0	I	II	III	IV
分子	156	657	210	15	2
全体					
分母	306	969	600	154	25
指標	50.98%	67.80%	35.00%	9.74%	8.00%
統計値					
平均値	50.98%	67.80%	35.00%	9.74%	8.00%
中央値	45.00%	63.93%	33.33%	0.00%	0.00%
標準偏差	37.50%	24.84%	21.57%	19.33%	24.59%
前年平均	46.86%	69.94%	41.31%	14.08%	23.08%



前立腺癌(手術あり症例)における術式・治療別実施率

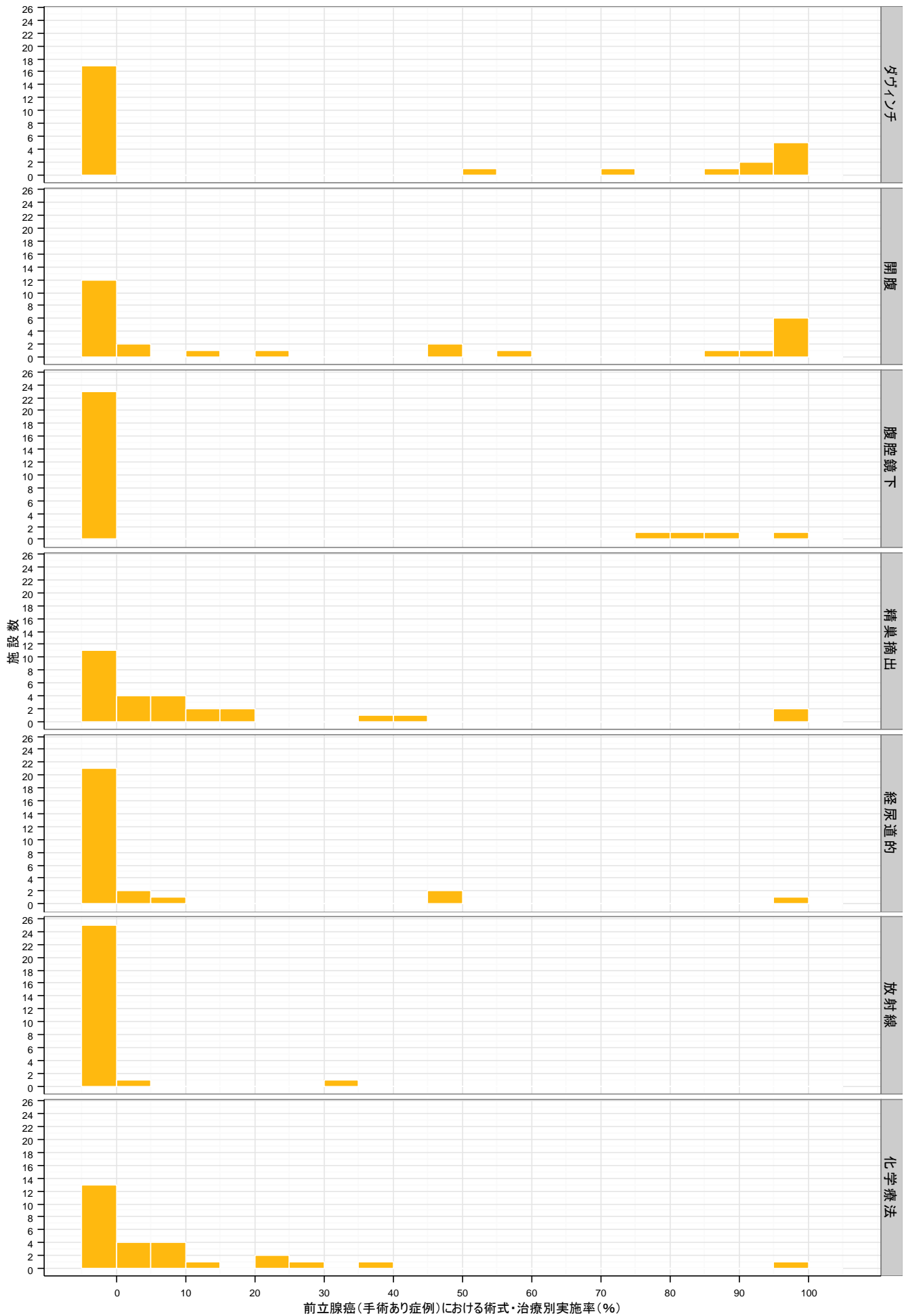
分子

分母症例における、「ダヴィンチ手術」、「開腹」、「腹腔鏡下」、「精巣摘出」、「経尿道的」、「放射線」、および、「化学療法」実施別の症例件数
 ※ 分類を跨いで複数実施している場合は、それぞれの分類に計上

分母

「医療資源最傷病ICD10」がC61(前立腺の悪性新生物)、C637(その他の明示された男性生殖器の悪性新生物)、D075(前立腺の上皮内癌)に該当、且つ、下記手術(分母抽出の対象手術コード)いずれかを実施している症例件数

	ダヴィンチ	開腹	腹腔鏡下	精巣摘出	経尿道的	放射線	化学療法
分子	486	113	106	60	12	3	42
全体							
分母	776	776	776	776	776	776	776
指標	62.63%	14.56%	13.66%	7.73%	1.55%	0.39%	5.41%
統計値							
平均値	62.63%	14.56%	13.66%	7.73%	1.55%	0.39%	5.41%
中央値	0.00%	2.20%	0.00%	1.79%	0.00%	0.00%	1.20%
標準偏差	44.47%	43.84%	31.50%	27.08%	22.72%	6.41%	20.72%
前年平均	58.93%	16.98%	10.61%	10.86%	2.62%	1.12%	4.00%



大腸癌の腹腔鏡下手術実施症例における平均食事開始日

分子

手術実施日からの食事開始時点の経過日数の合計

分母

「医療資源最傷病ICD10」が、C18\$、C19、C20、D010、D011、D012(大腸癌)である症例のうち、下記手術を実施した症例件数。但し、手術実施日数が複数日の症例は除外

		H25	H26	H27	H28
全体	分子	4,998	5,778	6,317	6,753
	分母	1,518	1,780	1,991	2,150
	指標	3.29	3.25	3.17	3.14
統計値					
	平均値	3.29	3.25	3.17	3.14
	中央値	3.29	3.52	3.61	3.56
	標準偏差	1.17	1.08	1.22	1.50

大腸癌の開腹手術実施症例における平均食事開始日

分子

手術実施日からの食事開始時点の経過日数の合計

分母

「医療資源最傷病ICD10」が、C18\$、C19、C20、D010、D011、D012(大腸癌)である症例のうち、下記手術を実施した症例件数。但し、手術実施日数が複数日の症例は除外

		H25	H26	H27	H28
全体	分子	4,943	3,926	4,066	3,135
	分母	1,285	1,063	1,015	786
	指標	3.85	3.69	4.01	3.99
統計値					
	平均値	3.85	3.69	4.01	3.99
	中央値	3.66	3.55	4.04	3.90
	標準偏差	1.37	1.33	1.42	1.34

胃癌の腹腔鏡下手術実施症例における平均食事開始日

分子

手術実施日からの食事開始時点の経過日数の合計

分母

「医療資源最傷病ICD10」が、C16\$、D002(胃癌)である症例のうち、下記手術を実施した症例件数。但し、手術実施日数が複数日の症例は除外

	H25	H26	H27	H28
分子	2,173	2,401	2,100	2,774
全体 分母	604	715	650	808
指標	3.60	3.36	3.23	3.43
統計値				
平均値	3.60	3.36	3.23	3.43
中央値	3.69	3.63	3.42	3.44
標準偏差	2.04	1.13	1.36	1.66

胃癌の開腹手術実施症例における平均食事開始日

分子

手術実施日からの食事開始時点の経過日数の合計

分母

「医療資源最傷病ICD10」が、C16\$、D002(胃癌)である症例のうち、下記手術を実施した症例件数。但し、手術実施日数が複数日の症例は除外

	H25	H26	H27	H28
分子	4,493	4,091	3,733	3,144
全体 分母	993	984	912	769
指標	4.52	4.16	4.09	4.09
統計値				
平均値	4.52	4.16	4.09	4.09
中央値	4.49	4.33	4.12	4.32
標準偏差	1.45	1.59	2.64	1.37

膵頭部領域癌(膵癌・胆嚢癌・胆管癌)の手術実施症例における平均食事開始日

分子

手術実施日からの食事開始時点の経過日数の合計

分母

「医療資源最傷病ICD10」が、C23、C24\$ (胆嚢癌・胆管癌)、C25\$ (膵癌) である症例のうち、下記手術を実施した症例件数。但し、手術実施日数が複数日の症例は除外

		H25	H26	H27	H28
全体	分子	1,824	1,931	1,792	1,548
	分母	424	478	493	481
	指標	4.30	4.04	3.63	3.22
統計値					
	平均値	4.30	4.04	3.63	3.22
	中央値	4.15	4.06	3.50	3.55
	標準偏差	5.17	1.70	3.68	2.34

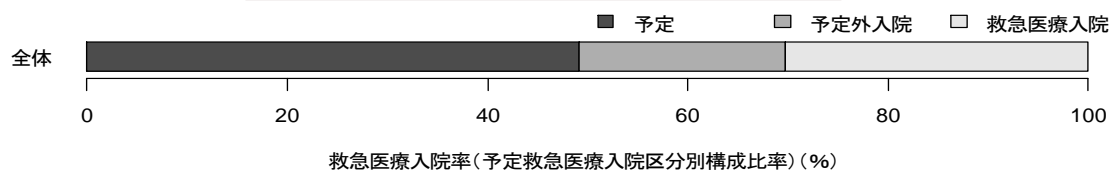
4. 救急医療の指標

救急医療入院率(予定救急医療入院区分別構成比率)

分子 分母症例の「予定」、「予定外入院」、「救急医療入院」別の症例件数

分母 様式1の「入院経路」が「1、4、5(注1)」である症例件数

		予定	予定外入院	救急医療入院
全体	分子	164,128	68,900	101,132
	分母	334,160	334,160	334,160
	指標	49.12%	20.62%	30.26%
統計値				
	平均値	49.12%	20.62%	30.26%
	中央値	46.36%	26.67%	27.79%
	標準偏差	8.86%	14.00%	12.89%
	前年平均	49.75%	21.06%	29.19%

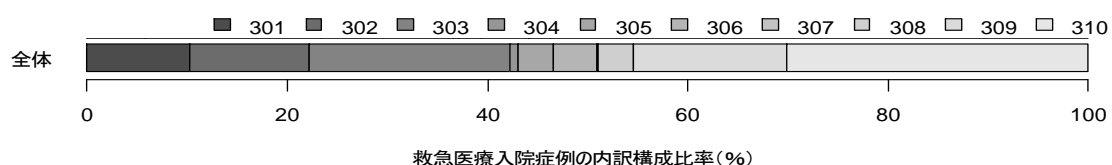


救急医療入院症例の内訳構成比率

分子 分母症例の様式1「救急医療入院」の要件301~310別の症例件数

分母 様式1の「入院経路」が「1、4、5(注1)」、且つ、「予定救急医療入院区分」が「3**」である症例件数

	301	302	303	304	305	306	307	308	309	310	
全体	分子	10,370	12,002	20,388	714	3,609	4,441	86	3,529	15,486	30,507
	分母	101,132	101,132	101,132	101,132	101,132	101,132	101,132	101,132	101,132	101,132
	指標	10.3%	11.9%	20.2%	0.7%	3.6%	4.4%	0.1%	3.5%	15.3%	30.2%
統計値											
	平均値	10.3%	11.9%	20.2%	0.7%	3.6%	4.4%	0.1%	3.5%	15.3%	30.2%
	中央値	6.6%	12.7%	21.5%	0.5%	2.7%	4.3%	0.0%	3.1%	15.6%	23.3%
	標準偏差	10.8%	6.6%	5.6%	1.0%	2.5%	2.9%	0.1%	2.7%	10.1%	18.7%
	前年平均	11.5%	12.6%	22.3%	0.7%	4.0%	4.3%	0.1%	4.4%	14.6%	25.6%



5. その他疾患の各指標

市中肺炎の重症度(A-DROP)別構成比率

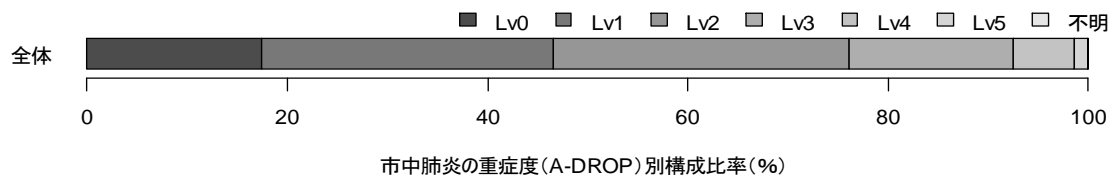
分子

分母症例の重症度レベル別(詳細等を参照)の症例件数

分母

「肺炎の重症度分類」が入力されている、且つ、「市中肺炎」である症例件数

施設	Lv0	Lv1	Lv2	Lv3	Lv4	Lv5	不明
分子	1,665	2,795	2,831	1,570	582	137	0
全体	9,580	9,580	9,580	9,580	9,580	9,580	9,580
指標	17.38%	29.18%	29.55%	16.39%	6.08%	1.43%	0.00%
統計値							
平均値	17.38%	29.18%	29.55%	16.39%	6.08%	1.43%	0.00%
中央値	16.65%	30.19%	30.00%	16.14%	4.89%	1.03%	0.00%
標準偏差	7.02%	6.64%	3.89%	4.96%	3.74%	1.77%	0.00%
前年平均	16.48%	32.20%	27.67%	14.15%	4.72%	1.31%	3.47%



成人市中肺炎入院患者における入院2日以内の広域抗菌薬(抗緑膿菌薬)使用率

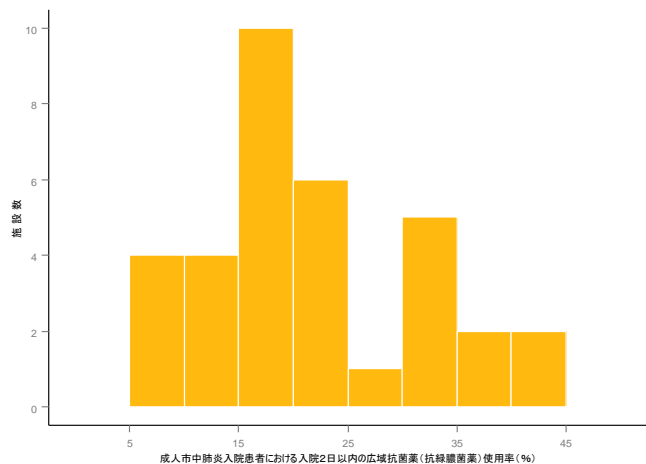
分子

分母のうち、入院当日、または、翌日に抗緑膿菌薬が投与された症例件数

分母

「入院契機ICD10」または「医療資源最傷病ICD10」が「J13」、「J14」、「J15\$」、「J16\$」、「J17\$」「J18\$」である症例件数
 ※ 入院時点で20歳以上を対象とする

	分子	分母	指標
全体	2,059	9,290	22.16%
統計値			
平均値	22.16%	前年度平均	24.43%
中央値	18.66%		
標準偏差	10.12%	集計対象34施設	



認知症高齢者の日常生活自立度判定基準別構成比率

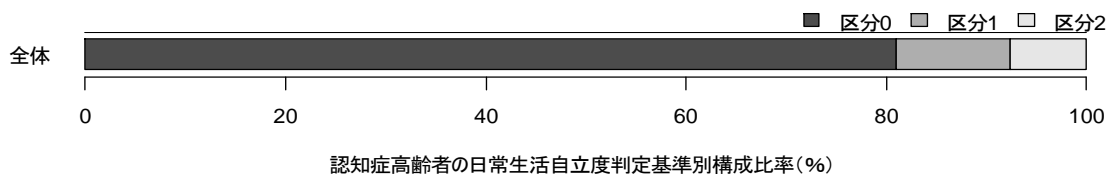
分子

分母症例の様式1「認知症高齢者の日常生活自立度判定基準」別の症例件数

分母

入院時年齢が65歳以上である症例件数

		区分0	区分1	区分2
全体	分子	164,852	23,269	15,577
	分母	203,698	203,698	203,698
	指標	80.93%	11.42%	7.65%
統計値				
	平均値	80.93%	11.42%	7.65%
	中央値	79.24%	11.96%	7.90%
	標準偏差	9.52%	5.61%	4.67%
	前年平均	82.95%	10.85%	6.20%



認知症高齢者日常生活自立度別 在院日数分布

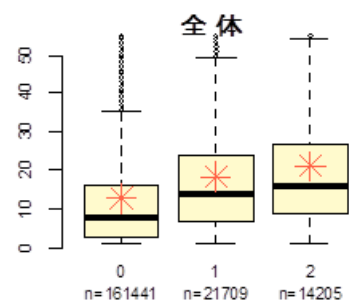
分子

分母症例の在院日数合計

分母

入院時年齢が65歳以上の症例の様式1「認知症高齢者の日常生活自立度判定基準」別の症例件数
 ※ その他病棟への転棟を除く

		区分0	区分1	区分2
全体	分子	2,078,045	400,366	303,525
	分母	161,441	21,709	14,205
	指標	12.87	18.44	21.37
統計値				
	平均値	12.87	18.44	21.37
	中央値	12.86	18.50	21.26
	標準偏差	1.58	2.47	4.17
	前年平均	13.23	19.28	22.20



鼠径ヘルニア手術(15歳以上)における腹腔鏡下での手術実施率

分子

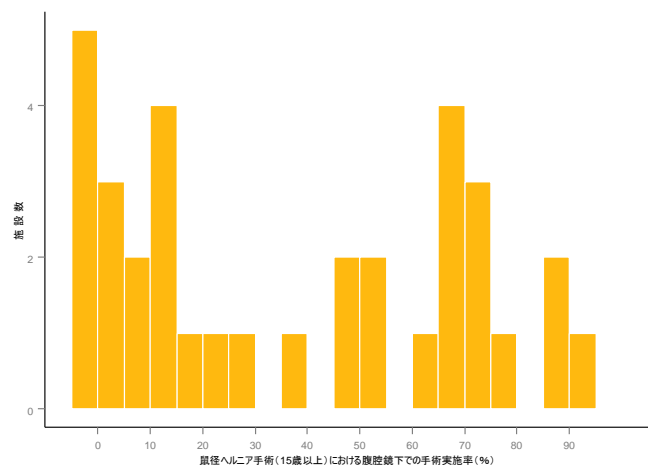
分母症例のうち、「K634:腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術」を実施した症例数の合計

分母

「K6335:鼠径ヘルニア手術」または「K634:腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術」を実施した症例数合計

- ※ 但し、入院時点で15歳未満の症例は除く
- ※ 但し、両方実施した症例は除く

	分子	分母	指標
全体	1,131	2,853	39.64%
統計値			
平均値	39.64%	前年度平均	35.59%
中央値	31.88%		
標準偏差	32.08%	集計対象34施設	



鼠径ヘルニア手術(15歳以上)における在院日数

分子

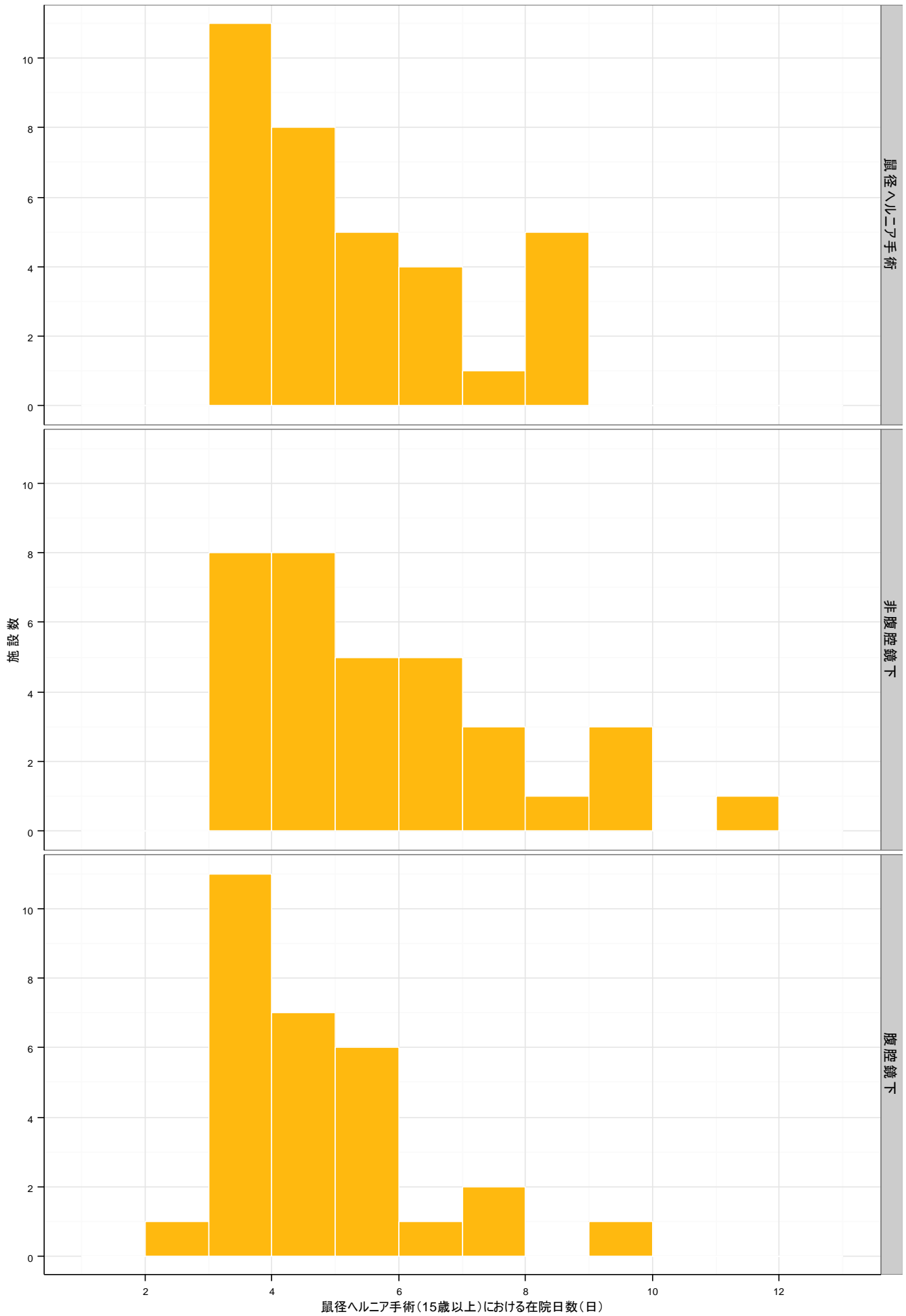
分母症例の在院日数合計

「K6335:鼠径ヘルニア手術」または「K634:腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術」を実施した症例数

分母

- ※ 但し、入院時点で15歳未満の症例は除く
- ※ 但し、両方実施した症例は除く
- ※ その他病棟への転棟を除く

	鼠径ヘルニア手術	非腹腔鏡下	腹腔鏡下	
全体	分子	13,818	8,704	5,114
	分母	2,842	1,713	1,129
	指標	4.86	5.08	4.53
統計値				
	平均値	4.86	5.08	4.53
	中央値	4.64	5.41	4.15
	標準偏差	1.69	2.04	2.23
	前年平均	5.17	5.38	4.81



大動脈解離の死亡率

分子

分母のうち、「退院時転帰」が「死亡(6または7)」の症例件数
 ※「24時間以内の死亡の有無」が「処置室等死亡(2)」を除く

分母

「医療資源最傷病ICD10」が、I710(大動脈の解離)である症例件数

	分子	分母	指標
全体	80	869	9.21%
統計値			
平均値	9.21%	前年度平均	13.87%
中央値	8.67%		
標準偏差	13.93%	集計対象34施設	

